

# 国道150号中島高架橋が供用開始され、渋滞が解消しました。

## 整備の概要



平成30年3月  
中島高架橋が開通

- 一般国道150号は、静岡市清水区を起点とし、主として県の沿岸部を西進し、終点浜松市に至る延長約121kmの主要幹線道路です。そのうち、静岡市では約23kmを管理しています。
- 静岡市内の国道150号は、近年の交通量の増加に伴い、至る所で慢性的な交通渋滞が発生し、道路機能のマヒに伴い地域経済にも大きな影響を与えていました。
- このため、安全で円滑な交通の流れを確保するため、駿河区下島から駿河区中島について、延長2,300mの4車線のバイパスを整備しました。
- 平成元年から静岡県が事業に着手し、平成12年度末に大浜街道までの延長900mが供用され、平成22年8月に大浜街道から(主)中島南安倍線との中島交差点までの平面道路部延長1,085mが供用開始されました。また、平成30年3月には、中島地区の延長1,400m区間(うち高架区間780m)が開通し、静岡バイパスが全線開通しました。

## 開通前の状況



延々と続く渋滞の列

## 渋滞の状況(上り線)



国道150号中島高架橋が開通し、それまでの激しい渋滞が解消され、利便性の高い道路になりました。

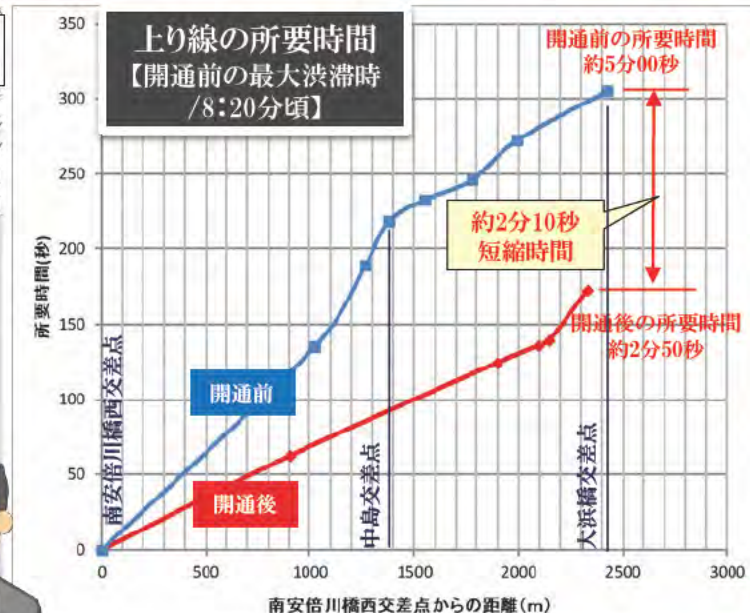


# 中島高架橋の開通により国道150号の所要時間が短縮されました。

上り線の旅行速度  
【開通前の最大渋滞時  
/8:20分頃】



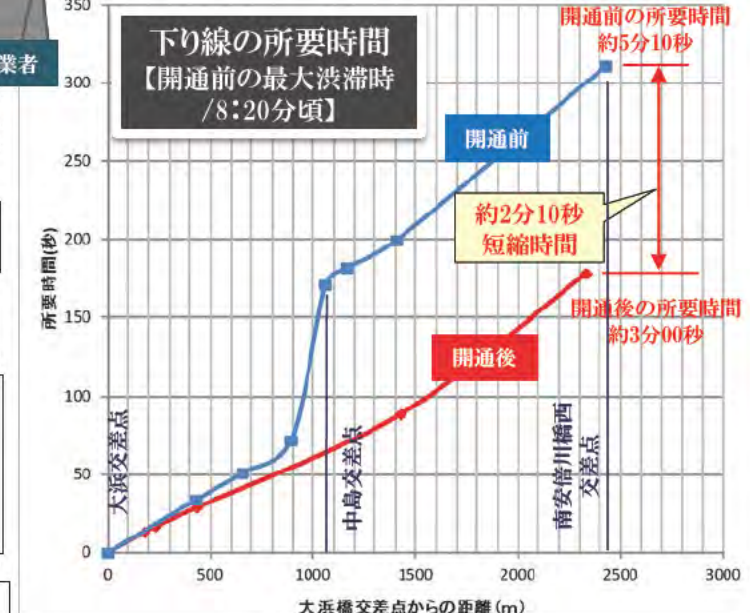
上り線の所要時間  
【開通前の最大渋滞時  
/8:20分頃】



下り線の旅行速度  
【開通前の最大渋滞時  
/8:20分頃】



下り線の所要時間  
【開通前の最大渋滞時  
/8:20分頃】

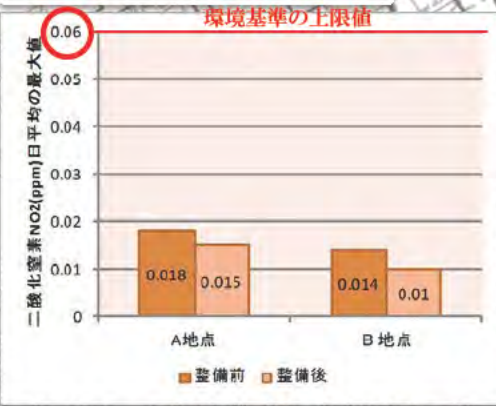


整備前: 2014年11月6日(木)、13日(木)、18日(火)の3日間平均(全て晴天)  
 整備後: 2018年11月8日(木)、15日(木)、20日(火)の3日間平均(全て晴天)  
 ※ 旅行速度は、民間プローブデータを使用(8:00~8:15の平均値)

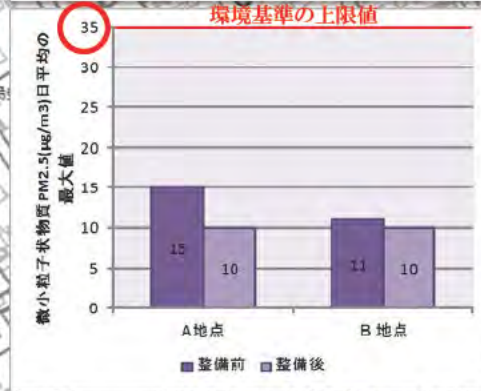


# 中島高架橋の開通により地域の生活環境が改善されました。

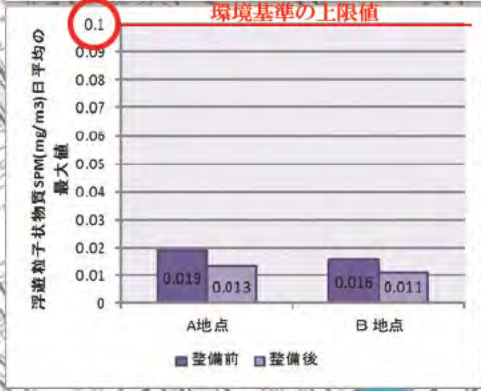
## 二酸化窒素(NO2)



## 微小粒子状物質(PM2.5)



## 微小粒子状物質(SPM)



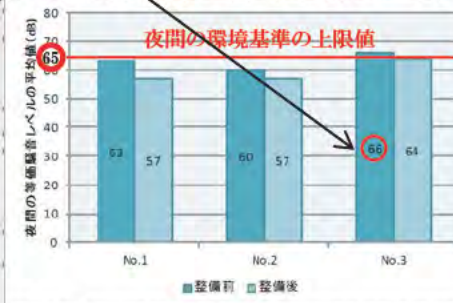
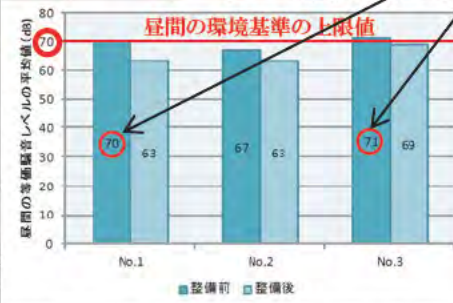
## 中島高架橋



整備前は環境基準を上回る状況も見られた

整備後は、騒音、振動、大気環境等の環境基準値以下であり、良好な生活環境となっています。

## 騒音



## 振動



- 【凡例】 調査箇所  
 ● 大気質・気象調査  
 ▲ 道路交通騒音・道路交通振動調査

## ■ 運送時間の短縮



## ■ 中島高架橋の完成による企業活動の変化

- 開通前までは、渋滞を見込んでの輸送時間の管理がなされていたが、開通後は渋滞がなくなり、渋滞を見込んだ運行管理の必要性がなくなりました。
- また、乗務員への運転時間の短縮により、労働負担が軽減されました。



- 国道150号が渋滞している時は、他の道路（国道1号BP、東名高速）へと迂回していましたが、完成後は迂回することが殆どなくなりました。



- 国際海上コンテナを主体として業務を行なっています。
- 背の高いコンテナの運行には重心が高くなることで非常に安全に気を配り運行しています。
- こうした中で、信号交差点の削減、走行しやすい道路曲線への解消は、ドライバーにとってリスク回避、ストレスの軽減と大きな役割を果たしています。



- 弊社は清水港でのコンテナターミナル運営会社であり、輸出入貿易貨物の輸配送や海上コンテナ輸送には直接関係してはいませんが、清水港のターミナル視察に来られるお客様には、日頃から「幹線道路へのアクセスの良さ」をアピールしています。

